



タウンミーティング (懇談会)

タウンミーティングの内容

01 君津市の状況

- 人口推計
- 財政状況
- 産業の状況

02 これまでの取組

- まち・ひと・しごと創生総合戦略
- 国土強靱化地域計画

03 新しい総合計画の策定に向けて

- 総合計画とは
- オール君津で策定を進めています
- 時代の潮流に留意する必要があります
- 2030年の君津の姿を検討しています

タウンミーティングの目的



「君津市の状況」、「これまでの取組」、
「新しい総合計画の策定経過」の共有



君津の未来について、皆さんと一緒に考える

みんなで
君津の未来を
考えよう！



どんな
君津の未来を
望みますか？

タウンミーティングの内容

01 君津市の状況

- 人口推計
- 財政状況
- 産業の状況

02 これまでの取組

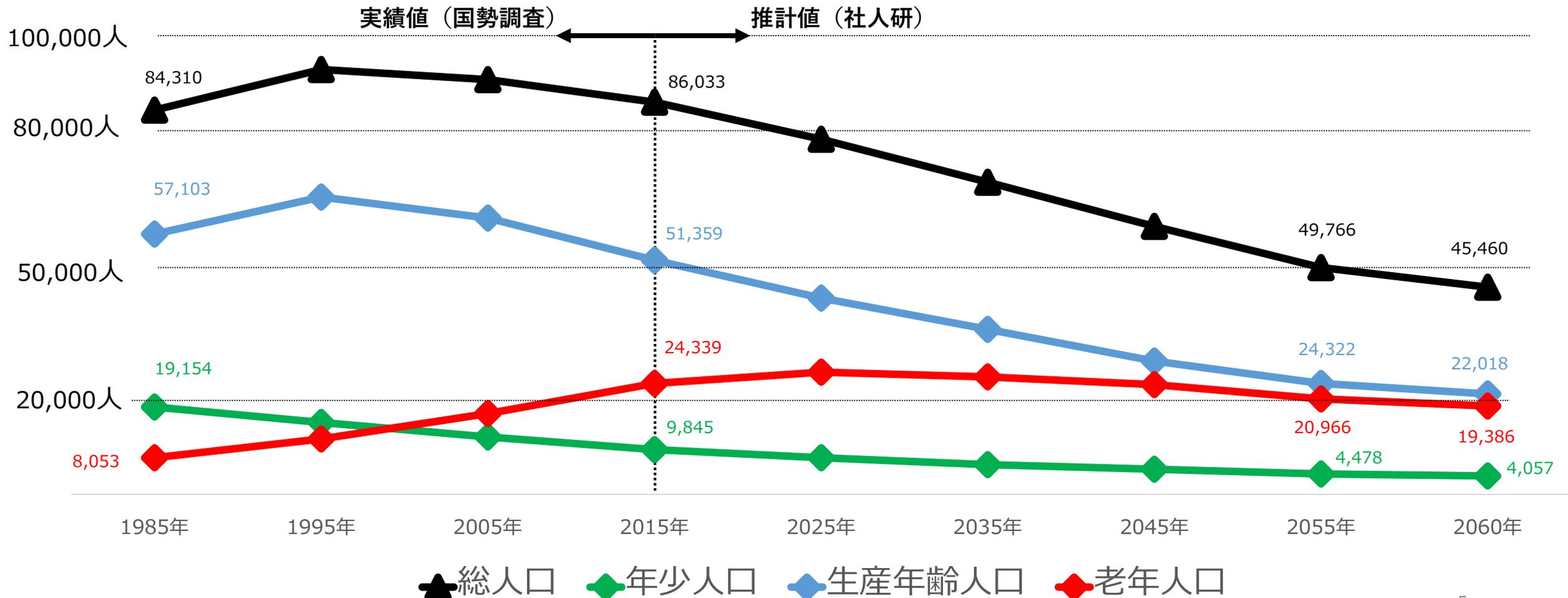
- まち・ひと・しごと創生総合戦略
- 国土強靱化地域計画

03 新しい総合計画の策定に向けて

- 総合計画とは
- オール君津で策定を進めています
- 時代の潮流に留意する必要があります
- 2030年の君津の姿を検討しています

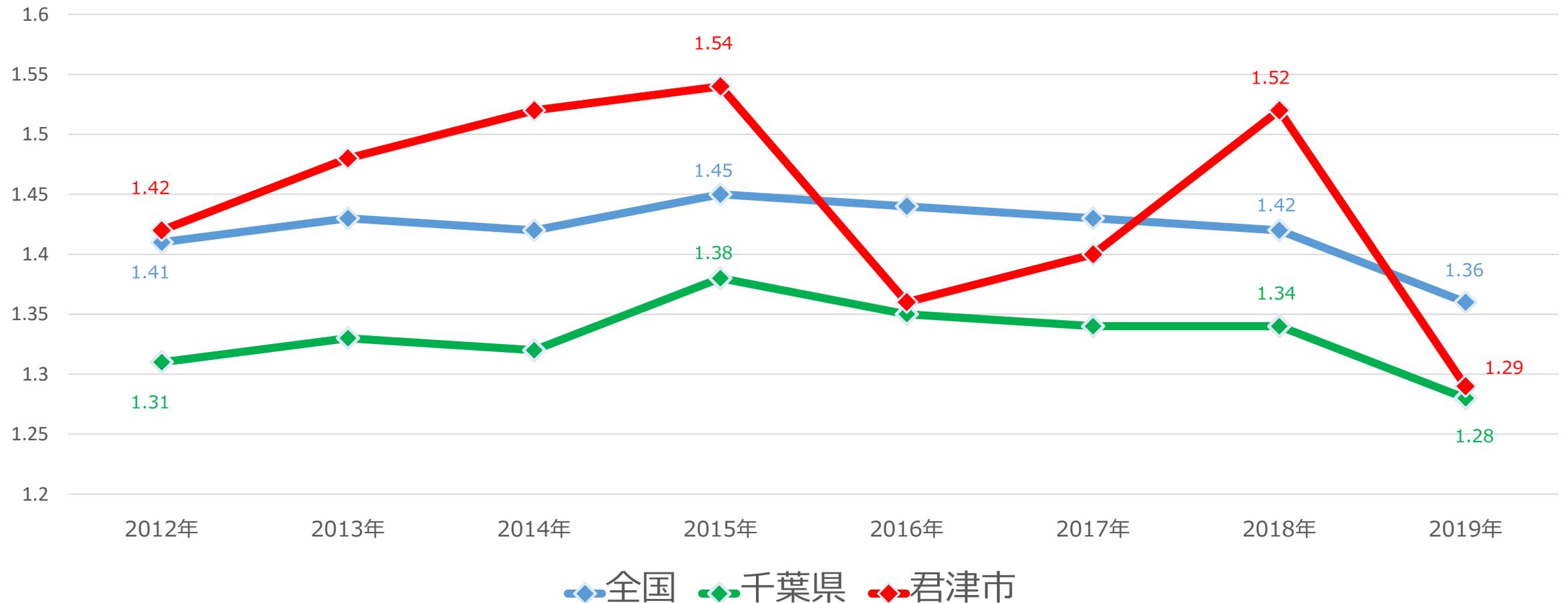
人口減少に対する取組と併せて、人口減少による将来への影響を見据えたまちづくりが求められます。

君津市の人口推計



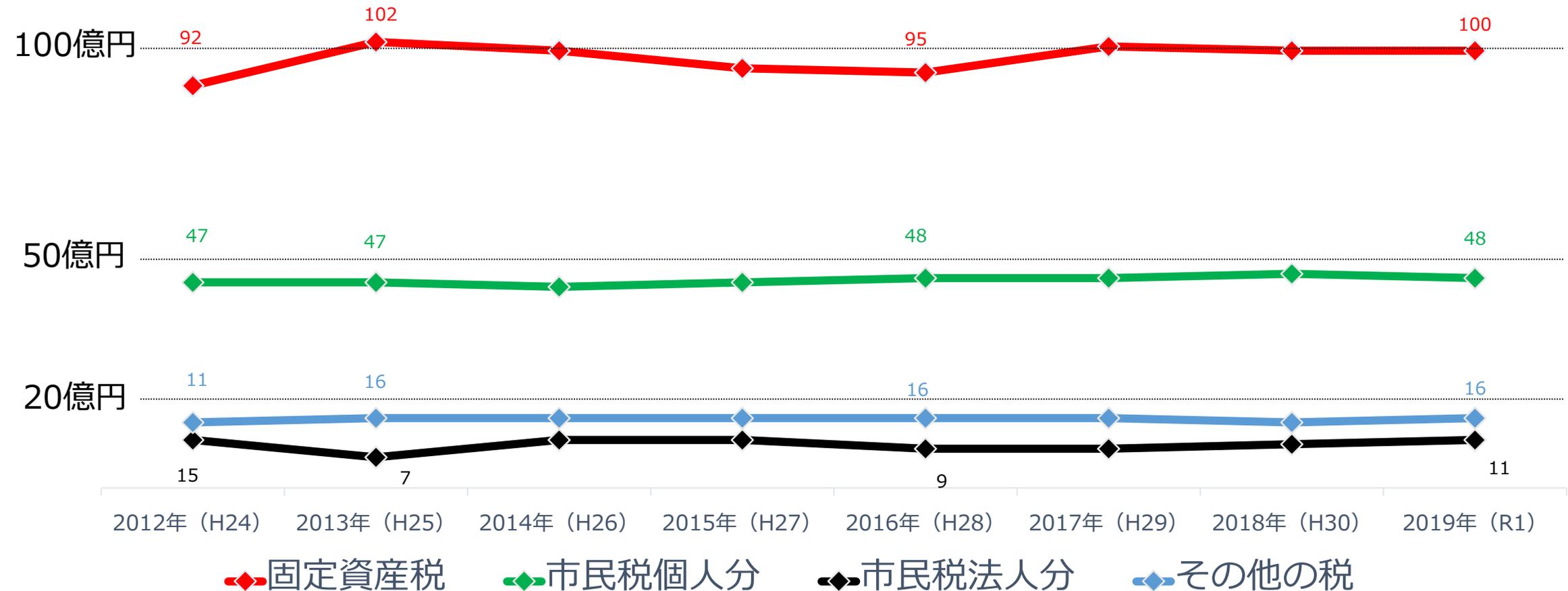
合計特殊出生率は、千葉県を上回っていますが、長期的に人口を維持できる水準とされる2.07を下回っています。

合計特殊出生率の推移



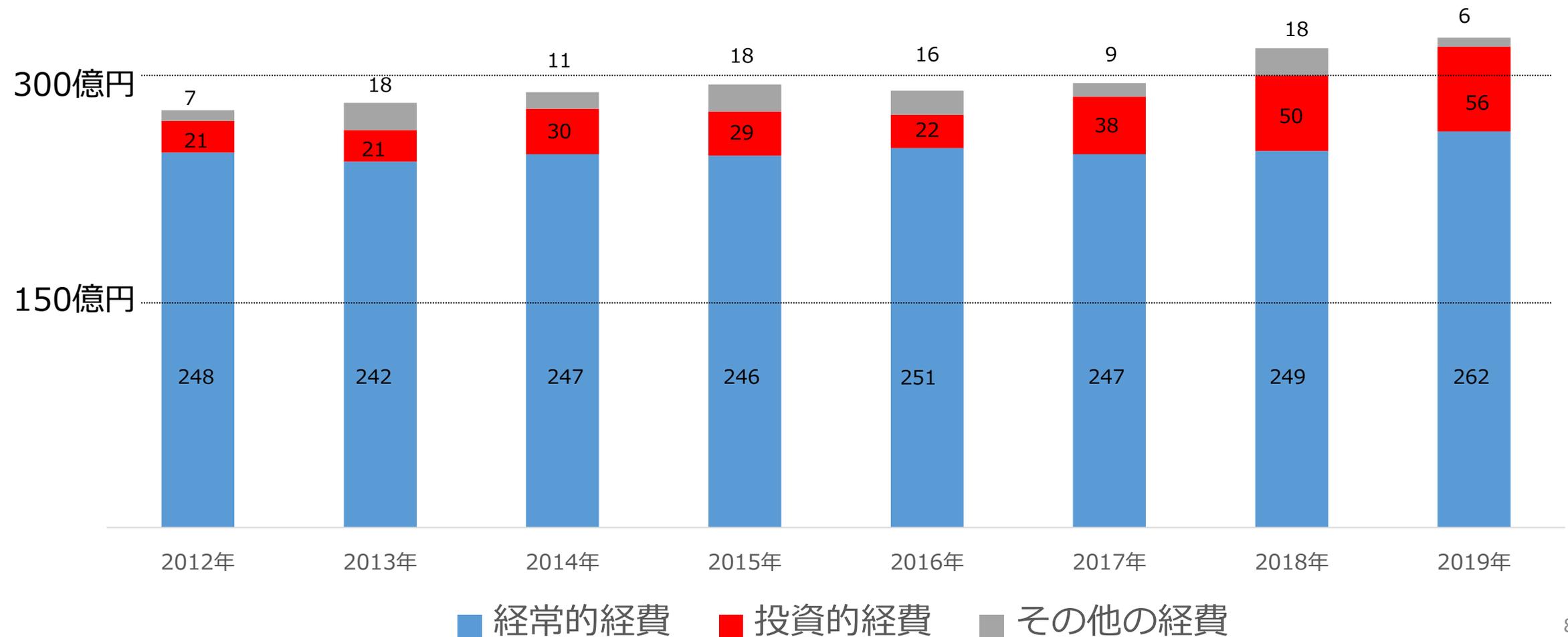
市税収入は、ほぼ横ばいで推移していますが、今後は生産年齢人口の減少等により大幅な増加が見込めない状況です。

市税収入の推移



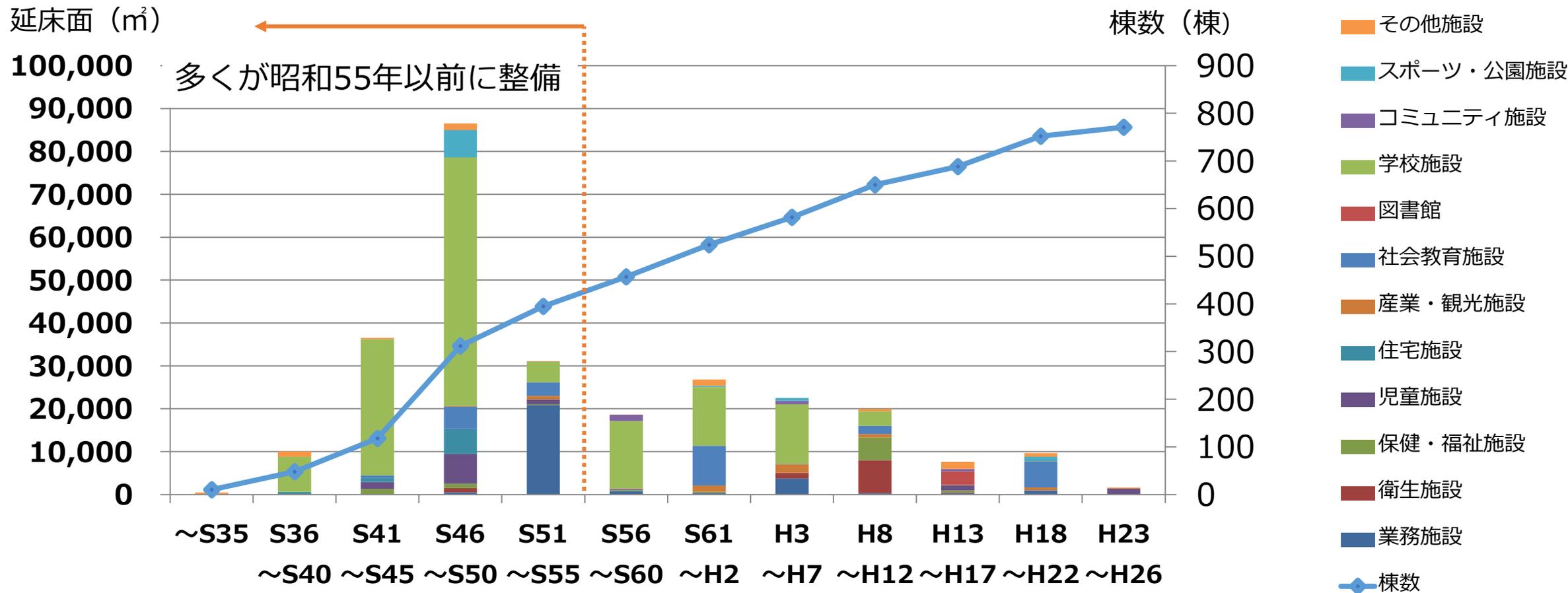
歳出の推移は公共施設の整備等に係る投資的経費が増加傾向にあります。

歳出の推移



昭和55年以前に整備された公共施設が多く、修繕や更新などしていくためには多額の費用を要することが予測されます。

公共施設の整備時期



市内産業を生産額で比較すると、鉄鋼業が突出して高くなっています。

産業の状況



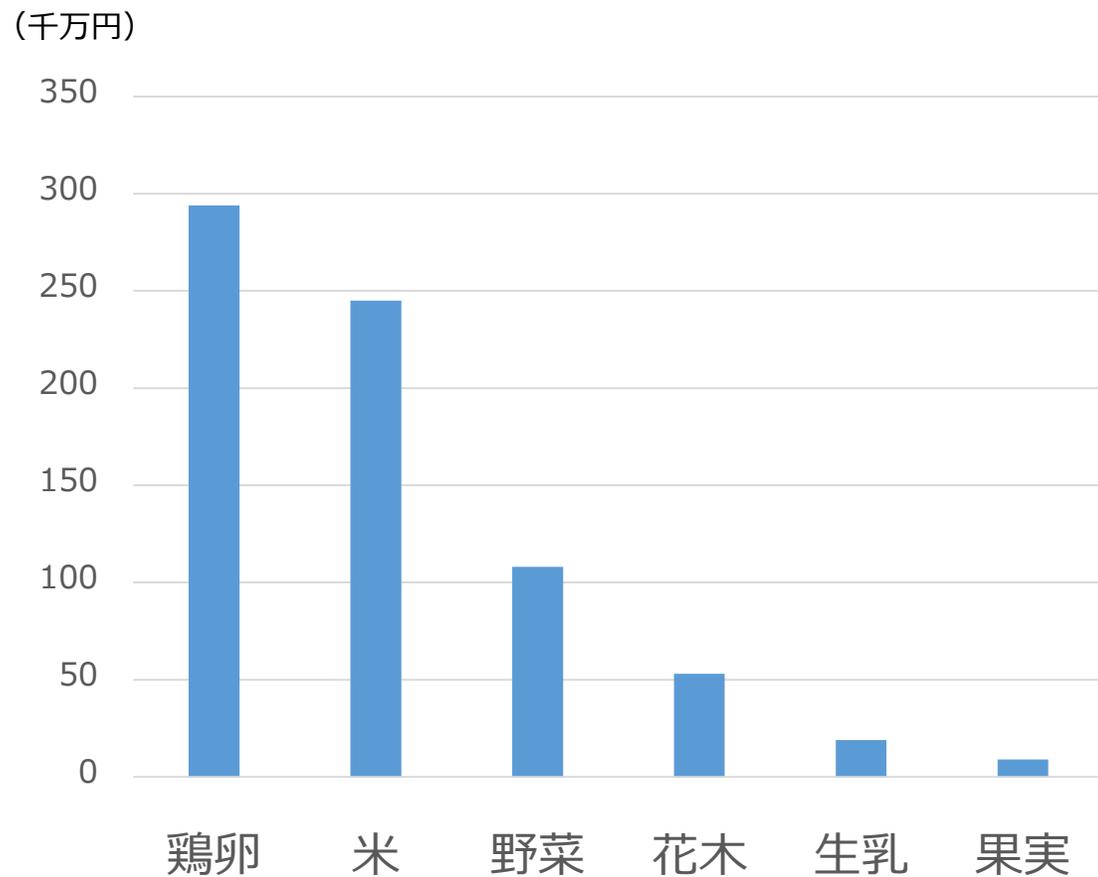
✓ 生産額の構成比は鉄鋼業が**56.4%**と突出して高い

✓ 鉄鋼業は流通業など様々な関連産業に波及効果をもたらしている

✓ 2番目に高いのは電気業の9.1%

市内では様々な農作物や畜産物が生産されています。

産業の状況（農業）



出典) 農林水産省

- ✓ 生産額別にみると、鶏卵の生産額が一番高い
- ✓ 2番目は米、3番目は野菜の順になっている
- ✓ 日本の3大生産地に数えられるカラーも栽培されている



タウンミーティングの内容

01 君津市の状況

- 人口推計
- 財政状況
- 産業の状況

02 これまでの取組

- まち・ひと・しごと創生総合戦略
- 国土強靱化地域計画

03 新しい総合計画の策定に向けて

- 総合計画とは
- オール君津で策定を進めています
- 時代の潮流に留意する必要があります
- 2030年の君津の姿を検討しています

人口減少に歯止めをかけ、活力ある地域を維持していくための 行動計画（アクションプラン）

まち・ひと・しごと創生総合戦略

取組の方向（基本的な視点）

- 若い世代・女性にターゲットを絞る。
- 君津の強み（らしさ）を活かす。
- 災害からの復旧・復興と安全安心な暮らしを実現する。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立を図る。

基本目標

- ① 安心して働けるしごとをつくる
- ② 君津へひとの流れをつくる
- ③ 安心して出産・子育てできる環境をつくる
- ④ つながり・支え合いによる安心安全なまちをつくる



あらゆる大規模自然災害を見据えて「リスクシナリオ（起きてはならない最悪の事態）」を明らかにし、最悪の事態に至らないための事前に取り組むべき施策を考えた計画。

国土強靱化地域計画（基本計画編）

【基本目標】

いかなる大規模自然災害が発生しようとも

- ①人命の保護が最大限図られること
- ②市及び地域社会の重要な機能が致命的な障害を受けずに維持されること
- ③市民の財産及び公共施設に係る被害の最小化
- ④迅速な復旧復興

【事前に備えるべき目標の設定】（直接死を最大限防ぐ など）

【脆弱性の分析・評価】（避難路・避難場所の確保が必要 など）

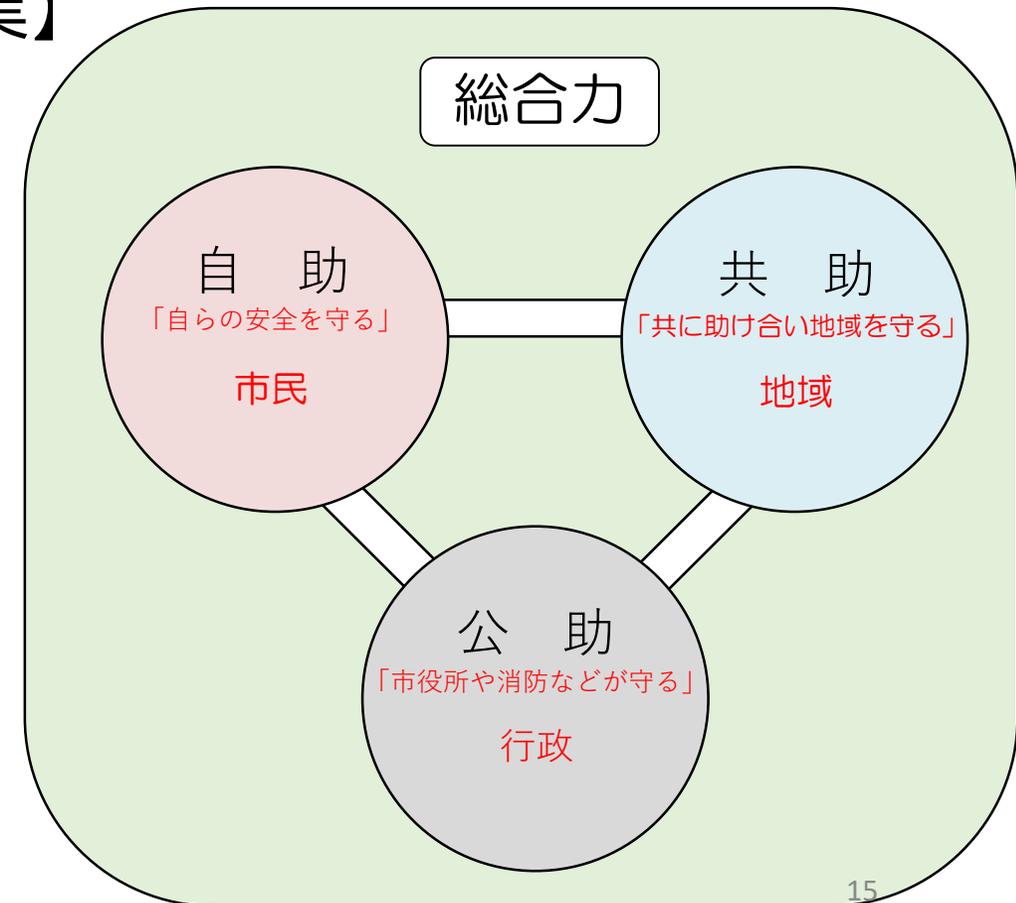
【リスクシナリオへの対応方策】（緊急時の避難路の整備 など）

あらゆる大規模自然災害を見据えて「リスクシナリオ（起きてはならない最悪の事態）」を明らかにし、最悪の事態に至らないための事前に取り組むべき施策を考えた計画。

国土強靱化地域計画（アクションプラン編）

【リスクシナリオへの対応方策に基づく事業】

- ◎木造住宅耐震化促進事業
- ◎保育園環境整備事業
- ◎災害に強い森づくり事業
- ◎地区防災計画策定事業
- ◎非構造部材耐震化事業
- ◎衛生センター整備事業
- ◎各種ハザードマップの作成
- ◎トンネル、橋梁の長寿命化対策 など



タウンミーティングの内容

01 君津市の状況

- 人口推計
- 財政状況
- 産業の状況

02 これまでの取組

- まち・ひと・しごと創生総合戦略
- 国土強靱化地域計画

03 新しい総合計画の策定に向けて

- 総合計画とは
- オール君津で策定を進めています
- 時代の潮流に留意する必要があります
- 2030年の君津の姿を検討しています

総合計画は10年後の目指すべきまちの姿や取組などを定める市の最上位計画です。

総合計画とは

未来につなぐ！

君津市総合計画を作っています！！

総合計画とは？

君津の未来のあるべき姿を皆で共有し、オール君津でまちづくりに取組むための指針です！

新しい総合計画は、基本構想を最高指針に定め、 基本計画や実施計画により施策や事業を展開します。

総合計画とは（総合計画の構成と期間）

基本構想

将来都市像、まちづくりの視点、土地利用の方針など
まちづくりのビジョンを定めます。
計画期間：2022年度～2030年度

基本計画

基本構想を実現するための分野ごとの施策、指標、
目標値などを定めます。
計画期間：前期2022年度～2026年度 後期2027年度～2030年度

実施計画

基本計画に定める分野ごとの施策を推進するため、予算編成、
行政評価等と連動した事業計画。

新しい総合計画は、市民、関係機関、企業、地域、行政、オール君津で策定を進めています。

市民対話による計画づくり（策定の経過）

各種アンケート

- ✓ 4種類のアンケートを実施
- ✓ 対象は市民、高校生、対岸在住者、近隣自治体在住者

未来ワークショップ

- ✓ 市内在住・在学の中高校生27名がオンラインで参加
- ✓ 未来の市長の立場から意見を発表

団体ヒアリング

- ✓ 17団体にヒアリングを実施
- ✓ 分野は子育て、福祉、農業、商工業、金融などに関係する団体

きみつ市民会議

- ✓ 合計で3回行い34名の方がオンラインで参加
- ✓ 君津の課題、魅力、望む未来などを発表



01 各種アンケート

[市民アンケート] n=621

- ✓ 市民の**約8割**が君津へ愛着や誇りを感じている
- ✓ 市民の**約7割**が君津に住み続けたいと感じているなど

[対岸在住者等アンケート] n=1,031

- ✓ **約8割**が君津を「知っている」若しくは「自治体名を聞いたことがある」と回答 など

[高校生アンケート] n=568

- ✓ **約4割**が「君津市が好き」と回答 など

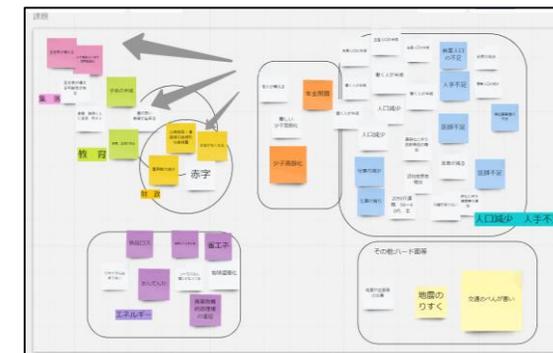
02 未来ワークショップ

[中学生・高校生から市への提案]

- ✓ 君津の強みを活かした、**農業体験**の推進
- ✓ **キャリア教育**の充実
- ✓ **SNSなどを活用した市のPR**の実施
- ✓ **ふるさと納税**に力を入れる など



未来ワークショップの様子



未来ワークショップ成果物（抜粋）

03 団体ヒアリング

[今後対応すべき課題や提案]

- ✓ **アフターコロナ**対策
- ✓ **鳥獣被害の拡大、農業人口の減少**
- ✓ **空き家、空き店舗**の対策 など

[10年前と比べて良くなったところ]

- ✓ 子どもたちと高齢者の**接点が増えている**
- ✓ 君津警察署管内の**犯罪件数は減ってきている** など

04 きみつ市民会議

[市民会議で挙げられた課題]

- ✓ **単身高齢者**の増加
- ✓ **耕作放棄地**の増加
- ✓ **地域コミュニティ**の希薄化 など

[今後の提案]

- ✓ **誰でも子育てに協力**できる仕組みづくり
- ✓ **地域の居場所づくり** など



きみつ市民会議実施風景

まちづくりを進めるに当たって、本市を取り巻く時代の潮流に留意する必要があります。

時代の潮流（全体）

01 人口減少・少子高齢化の影響

02 新型コロナウイルス感染症の影響

03 新しい生活様式への転換

04 サステイナブル（持続可能）な社会の実現

05 自然災害のリスクの増大

06 脱炭素社会の到来

07 情報技術の発展や高度情報化の進展

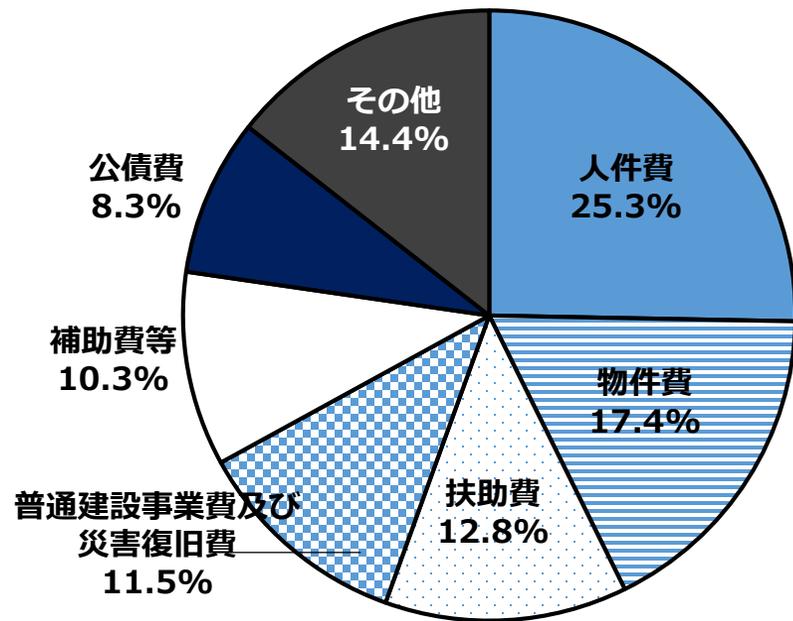
08 公共施設等の老朽化

09 東京圏の交通インフラ拡充

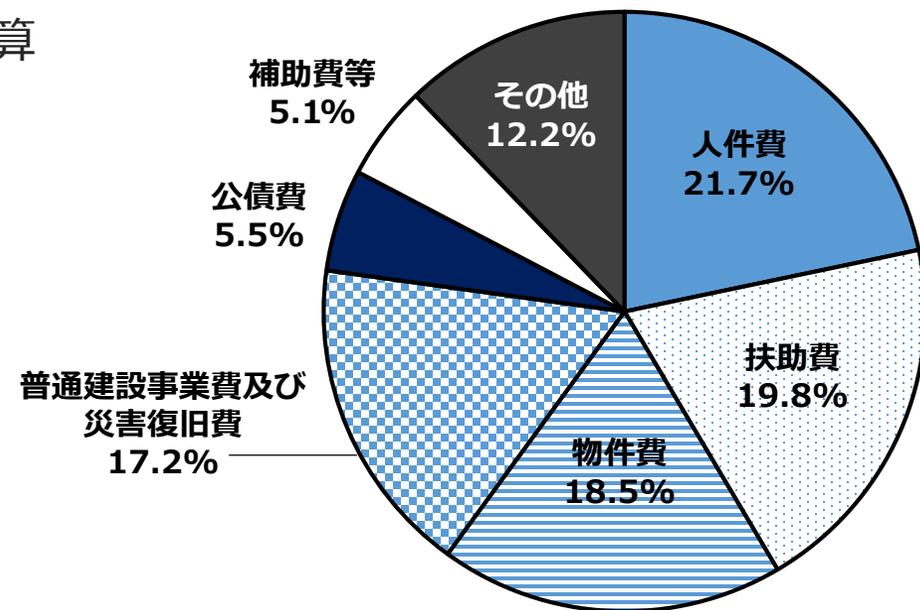
01 人口減少・少子高齢化の影響

人口減少・少子高齢化の進展は市の財政構造や産業構造に影響を与えるとともに、労働力、地域活動、消費の減少等、地域の社会活動の減退につながる可能性があります。

【財政構造の変化】
性質別決算



【H21 約290.4億円】

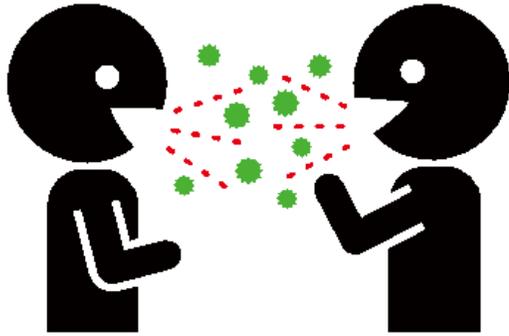


【R1 約323.7億円】

02 新型コロナウイルス感染症の影響

新型コロナウイルス感染症は世界中で大流行し、安全・安心な暮らしへの脅威となるとともに、急激な世界経済の低迷を引き起こしています。

また、テレワーク等の進展によるライフスタイルや価値観が変容しています。



出典) プリントアウトファクトリー

03 新しい生活様式への転換

社会経済機能のリモート化、リアル空間の非接触化が進展しています。

また、テレワーク等の働き方が広がりつつあり、今後、更にデジタル化が加速することが予測されています。



出典) イラストAC

04 サステイナブル（持続可能）な社会の実現

2015年9月の国連サミットにおいて国際社会全体の目標として、「持続可能な開発目標（SDGs）」が全会一致で採択され誰一人取り残さない社会の実現が求められています。



SDGsのロゴ

05 自然災害のリスクの増大

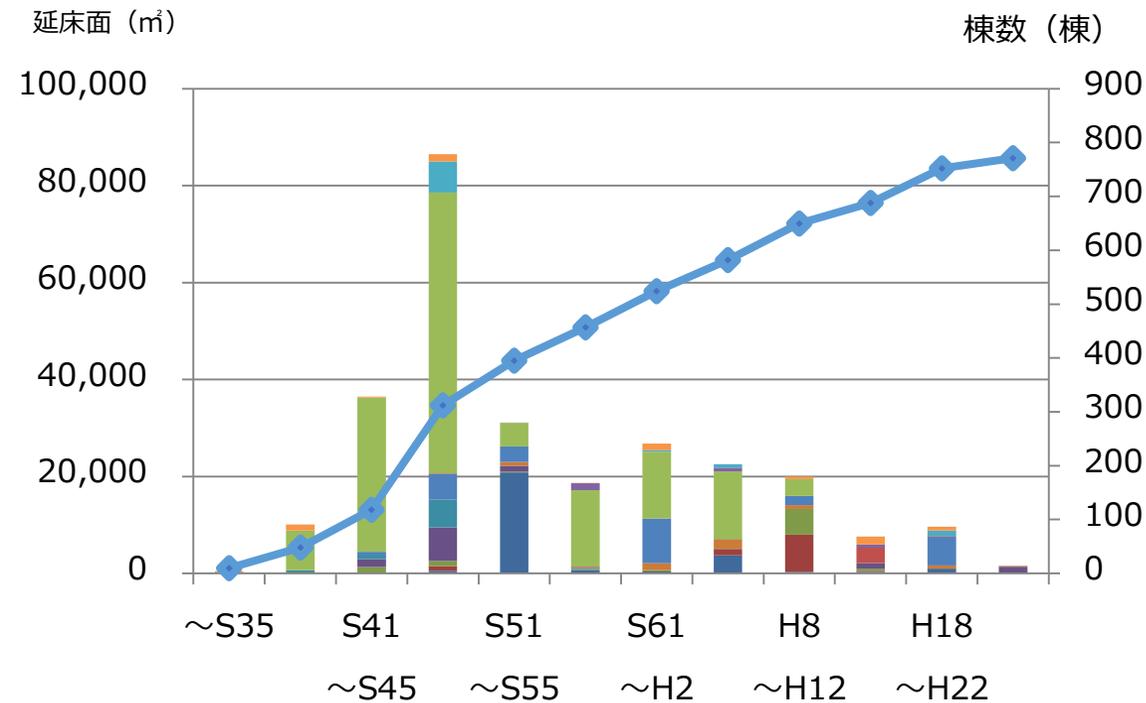
平均気温上昇に伴う大型台風やゲリラ豪雨、また、南海トラフ地震や首都直下型地震等の自然災害のリスク増大が懸念されています。



令和元年房総半島台風の被害の様子

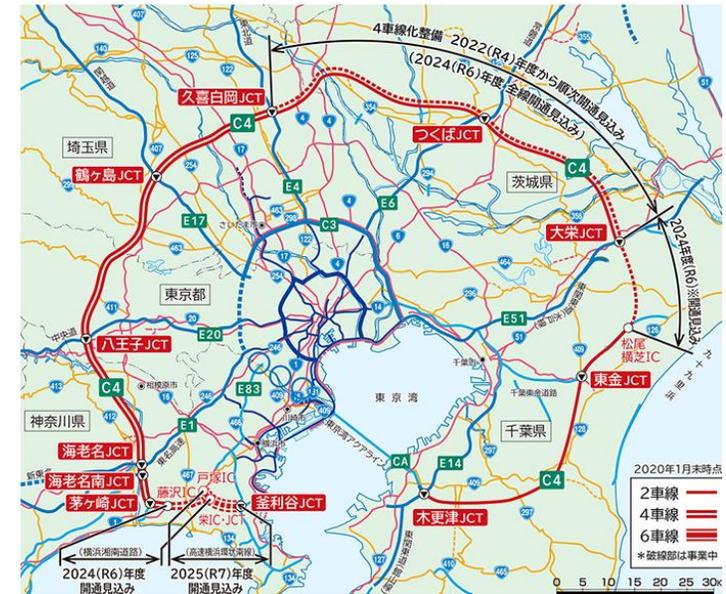
08 公共施設等の老朽化（再掲）

昭和55年以前に整備された公共施設等が多く、今後、これら施設の老朽化に伴い、本市の公共施設等を現状のまま維持管理・修繕・更新していくためには、多額の費用を要することが予想されます。



09 東京圏の交通インフラの拡充

圏央道の整備（県内は松尾横芝 I C ~ 大栄 J C T 間）、成田空港の B 滑走路延伸・ C 滑走路新設、リニア中央新幹線の開通等、東京圏における交通インフラは拡充されることが見込まれています。



出典) 国土交通省

これまでの取組と今後の対話をつうじて、10年後に実現すべき君津の姿として将来都市像、まちづくりの柱などを定めます。

基本構想

基本構想

将来都市像

基本姿勢

まちづくりの柱

将来都市デザイン

基本計画

実施計画

【案】

将来都市像

君津の将来のあるべき姿を定めます。

基本姿勢

将来都市像の実現に向けて、まちづくりを進めるにあたり根幹となる基本的な姿勢を定めます。

まちづくりの柱

分野ごとに具体的なまちづくりの柱を定めます。

将来都市デザイン

君津の土地利用の方針などを定めます。

など

市民参画の取組などからキーワードを抽出し 将来都市像を検討しています。

将来都市像を検討するためのキーワード

住みやすさ

安心

多様
多彩

創造

安全

幸せ

自然豊か

便利

ふれあい

つながり
ネットワーク

活気
活力

未来

今後もキーワードを増やしていきます

タウンミーティングなどの対話をつうじて、
今後もキーワードを増やしていき、将来都市像を
定めていきます。

現総合計画の将来都市像

人が集い 活力あふれる 健康都市 きみつ
～夢と誇りの持てるまち～

各分野における、理想の未来の姿についても、 検討を進めています。

まちづくりの視点

例えば、**子育て**分野では・・・

自然の中で
もっと遊びたい！

子育て環境を
充実させて
もっと子どもが
増えてほしい！

地域の行事に
もっと参加
したい！



例えば、**福祉**分野では・・・

住み慣れた場所で安心
して暮らし続けたい。

誰もが活躍で
きる未来に
なってほし
い。



各分野における、理想の未来の姿についても、 検討を進めています。

まちづくりの視点

例えば、**農業**分野では・・・

君津の農産物が
もっと有名に
なって欲しい！

農業体験を推進
して観光客が
増えて欲しい。

日本一の
カラーの里に
なってほしい！



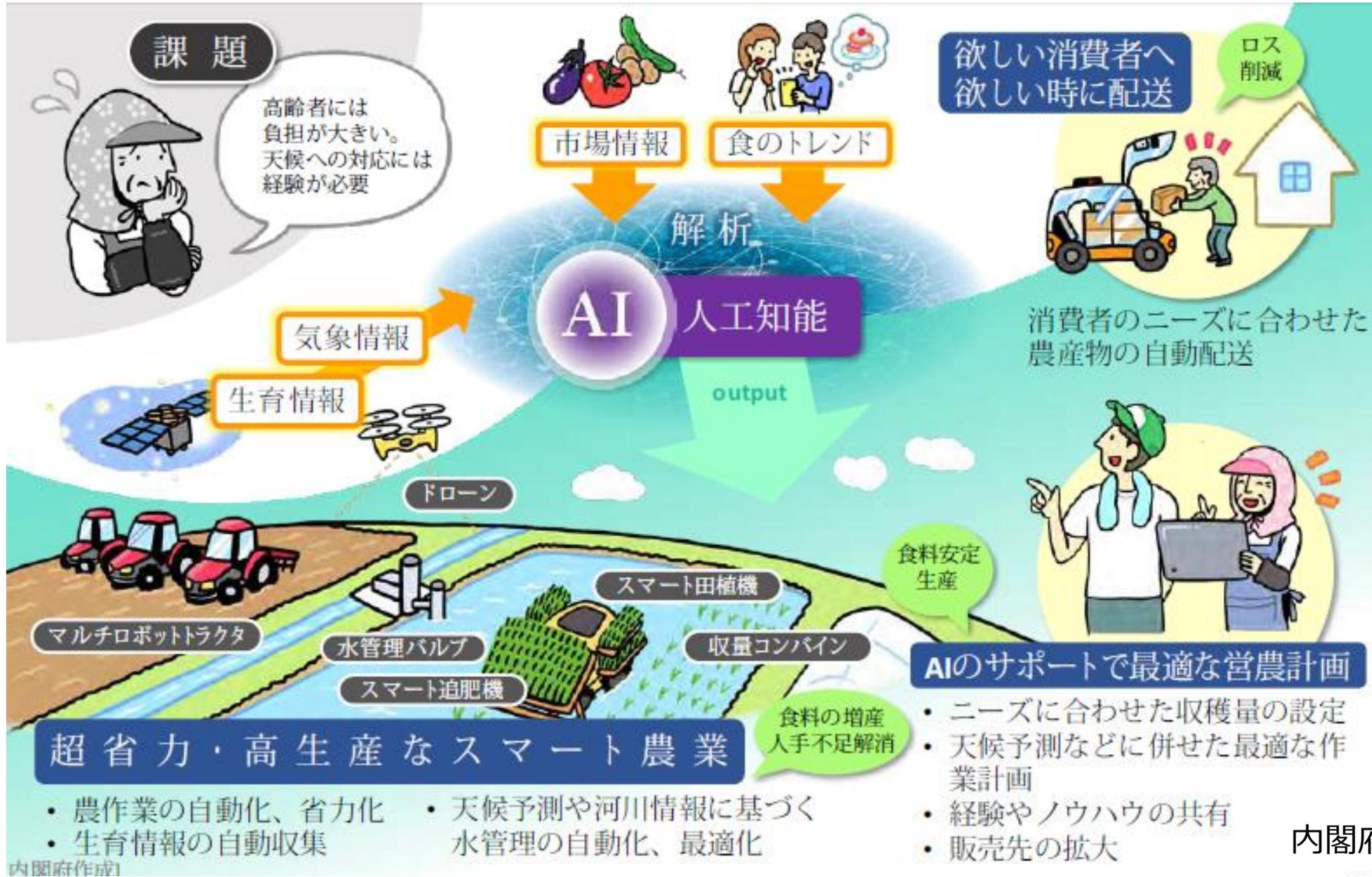
例えば、**環境**分野では・・・

脱炭素社会に配慮
したまちづくりを
してほしい。

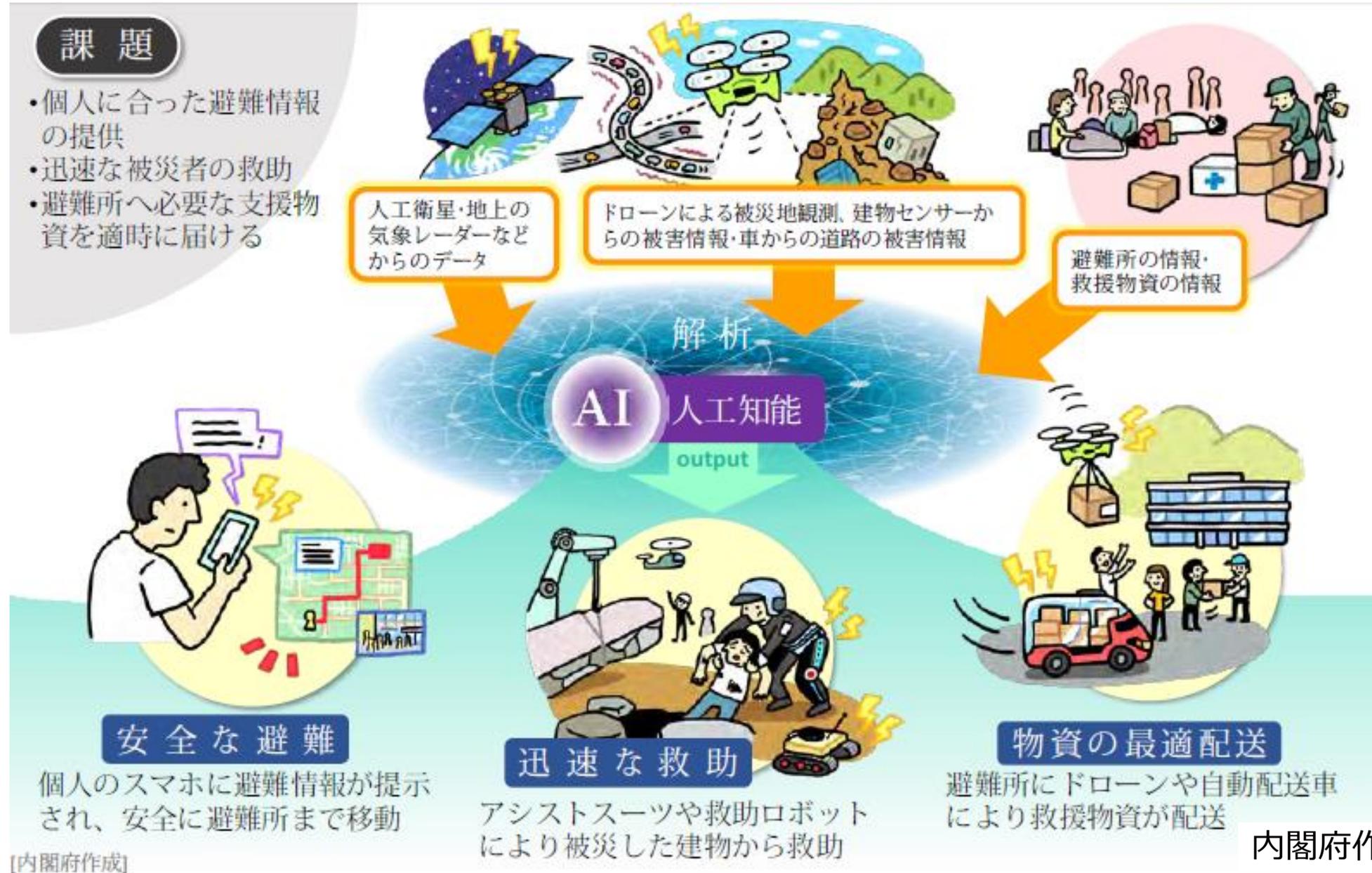
豊かな水と緑を
ずっと残し
続けたい。



こんな未来が実現するかも（農業）



こんな未来が実現するかも（防災）



最後に

将来のあるべき姿から逆算（バックキャスト）して
まちづくりに取り組みます。

君津の未来について、一緒に考えましょう。

皆さんは、どんな君津の未来を望みますか？